

読者のひろば



読者の皆様からいただいたお便りの中から、ご意見や情報などを紹介します。

久

しがりに「広報かのや」を隅から隅まで、小さな文字も読ませていただきました。発行400号を迎えられたんですね。すごいことだと思います。おめでとうございませう。鹿屋市民になって約28年。のんびりとした、深呼吸のできる土地柄がとても気に入っています。これからもリラックスしながら読める、解りやすい内容でお願いします。(N・Sさん・女性)

「広報かのや」を隅々までご覧いただきまして、ありがとうございます。平成18年1月13日発行の創刊号「新鹿屋市誕生」から数えて、16年8か月で400号に到達しました。その間、市民の皆さんに寄り添った読みやすく温かい広報誌となるよう、様々な内容を企画してきました。このまちのことを、もっと分かりやすく、もっと興味深く知っていただけるよう工夫し充実を図っていきますので、今後ともご愛読ください。

鹿

屋市に住んで長年経ちます。若者からお年寄りまで、もっと楽しめるイベントやお店、また、住みよい環境がたくさんあるけど、もう少し他県などから移り住んでいただける何かがあればいいのかなと思っています。大変だとは思いますが、これからも頑張ってください。(しば犬子さん・女性)

本市には、日本最大規模を誇る「かのやグラウンド・ゴルフ場」や大型遊具を備えた「あそびVIA」かのや」などの施設を有し、かのやばら園や吾平山上陵などの風光明媚な観光名所、豊富な食材など、鹿屋ならではの魅力的な場やアクティビティがあります。また、夏祭りなどの大型イベント以外にも、「おおすみハナマルシェ」など市民団体が主催する素晴らしいイベントも定期的に開催されていますので、これからも多くの人に鹿屋市を知っていただけるよう情報を発信していきます。

8

月号表紙のひまわりの写真がすごくキレイで元気をもらえました。8月下旬に下高隈町にあるひまわり畑を見に行ったのですが、残念なことにほとんど枯れていました。このひまわりが一面咲いていたら圧巻だったと思います。来年は時期を逃さず、満開の時に見に行きたいです。私は、ひまわりがウクライナの国花だとは知りませんでした。ひまわりを見る時に、この言葉が実現してほしいと思います。「平和が行き渡る。月がなくなる時まで」。世界中が平和になって、それがずっと続いてほしいと願います。(ひつじさん・女性)

どこまでも青い空、山には入道雲がかかり、太陽はギリギリ照り付け、ひまわりがスクツと背を伸ばす。誰もが思い浮かべる真夏の風景だと思います。夏は霧島ヶ丘公園など多くの公園でひまわりが咲き誇りますが、下高隈町や東原町、笠之原町などの市内の至るところでもひまわり畑を見ることが出来ます。さながら太陽のようなひまわりには、人を元気づける不思議なパワーを感じますよね。来年もひまわりが市内のあちこちで元気に咲き誇ることを期待しつつ、世界の平和と幸せな毎日が続くことを祈りたいと思います。

フォトネタ!



吾平町希望ヶ丘班の彼岸花

鹿兒島部品本社工場周辺の広場に咲く彼岸花。自治会の班員が数年前から育てている彼岸花が、広場の周囲を彩るように咲き誇っていました。

セ

セカンド・ライフ」を読んで、納得するとともに、皆様の生き生きとした表情に感激しました。定年後のことを想像して、いろいろやってきましたが、視力や聴力の老化現象に戸惑っています。老化和仲良く付き合っ、楽しく過ごせるよう周りに目を向けて、何か見つけていこうと思えました。健康づくりに励みながら、笑顔で過ごしていきたいです。(N・Kさん・女性)

今回取材をさせていただいた皆さんはもちろん、多くの人がはつらつと健康的に日々を過ごしています。現在、日本人の平均寿命が80歳を超え、超高齢社会となった日本では、健康寿命を延伸していくことが重要です。自分らしく、この鹿屋の地で、老若男女多くの人たちとつながって共に生きていきたいですね。